

■問い合わせ 行革財政課 ☎44-3628 ID 4417



※掲載している数値および割合は端数調整を行っています。

令和6年度の一般会計決算は、歳入167億4,915万円、歳出163億6,591万円、差引3億8,324万円で、翌年度への繰越事業に伴う繰越財源6,319万円を差し引いた実質収支額は、3億2,005万円の黒字となりました。

一般会計決算

歳入	歳出	翌年度に繰り越すべき財源	実質収支額
167億4,915万円	163億6,591万円	6,319万円	3億2,005万円

みなさんに納めていただいた税金は27億7,038万円で、軽自動車税は増加しましたが、固定資産税や市たばこ税などの減少や定額減税の影響により、市税全体としては前年度と比較して6,718万円の減少となりました。しかし、国から交付される地方交付税は前年度より3億1,219万円増加し、市が自由に使えるお金が増えました。

令和6年度 会計別決算額

〔△はマイナスを表します。〕

会計名	歳入 A	歳出 B	差引 C (= A - B)	繰越額 D	実質収支額 E (= C - D)
一般会計	167億4,915万円	163億6,591万円	3億8,324万円	6,319万円	3億2,005万円
特別会計					
国民健康保険事業	29億4,690万円	28億7,072万円	7,618万円	0円	7,618万円
学校給食費	6,993万円	7,299万円	△306万円	0円	△306万円
介護保険事業	37億8,242万円	37億7,809万円	433万円	0円	433万円
後期高齢者医療保険事業	5億7,437万円	5億7,411万円	26万円	0円	26万円

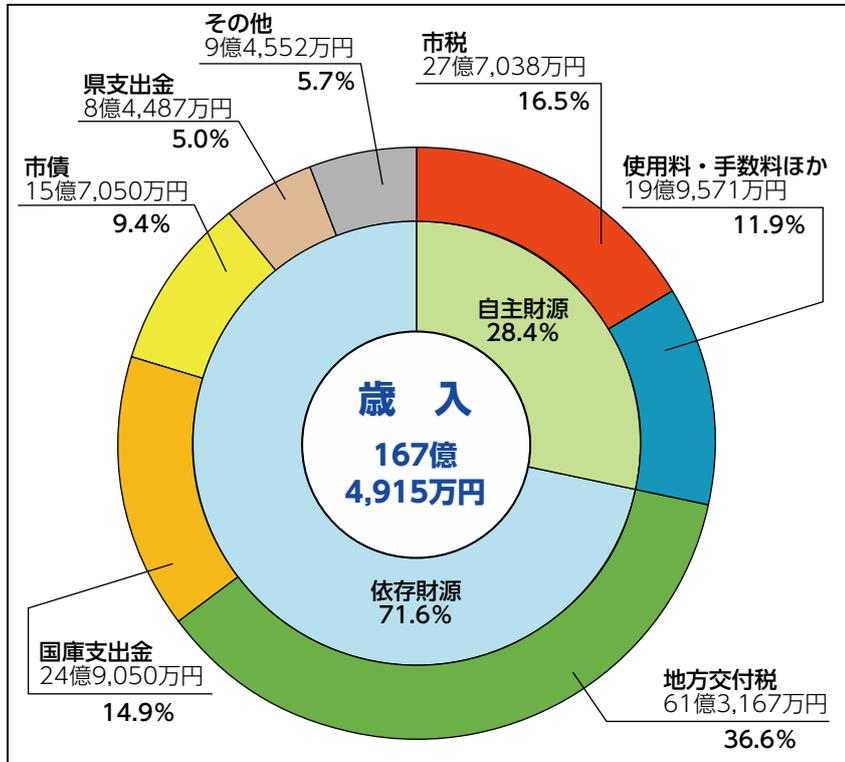
企業会計	会計名	収入 A	支出 B	当年度純利益 C (= A - B)	前年度繰越利益剰余金 D	当年度末処分利益剰余金 E (= C + D)
	水道事業会計 (収益的収支)	7億6,652万円	8億5,400万円	△8,748万円	3億9,698万円	3億 950万円
	下水道事業会計 (収益的収支)	5億4,732万円	5億4,436万円	296万円	2億1,692万円	2億1,988万円

▶特別会計・企業会計について

特定の事業を行い、一般会計とは別に会計を行うのが特別会計です。企業会計とは経済活動を一定の方式によって行う会計で、御所市では水道事業会計および下水道事業会計がこれにあたります。

令和6年度「一般会計決算」の内訳

歳入総額 167億4,915万円



○歳入

…市に入ったお金 (収入)

- 市税…市に納めていただいた税金
- 地方交付税…国が徴収した税金 (所得税など) の中から市の財政状況に応じて交付されたお金
- 国庫支出金・県支出金…市が行った特定の事業に対して国や県から受けたお金
- 市債…大きな事業を行うときに、国、県および金融機関などから借り入れたお金

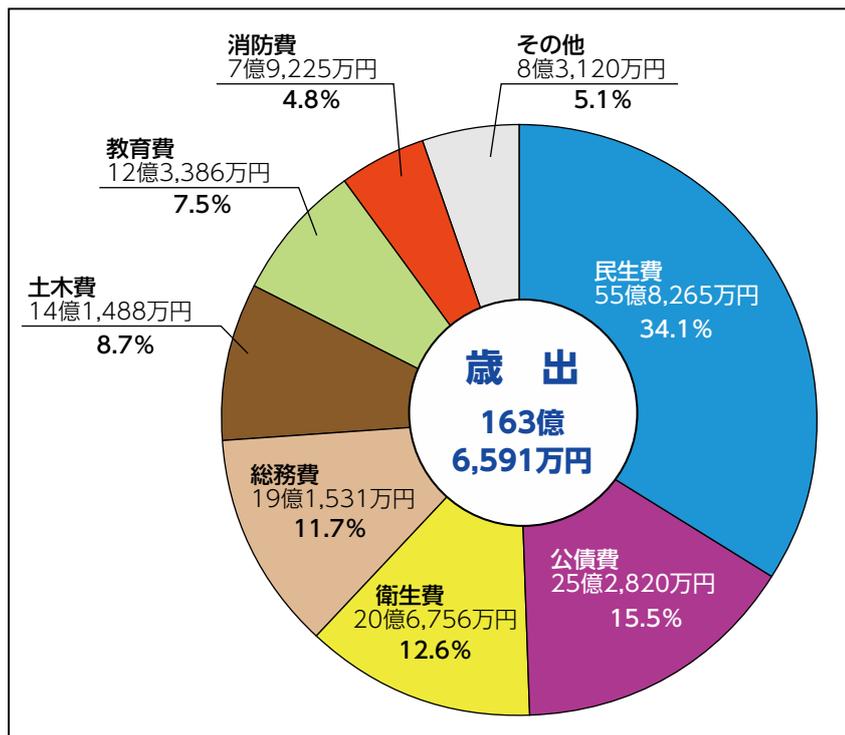
☆自主財源

…市が自主的に収入できたお金

☆依存財源

…国や県の基準に基づいて交付されたり、割り当てられたお金

歳出総額 163億6,591万円



○歳出

…市が使ったお金 (支出)

- 民生費…高齢者、障害者、児童などの医療・福祉などに使ったお金
- 公債費…市債 (借金) を返済するために支払ったお金
- 衛生費…保健衛生、健康管理、ごみ処理などの環境衛生に使ったお金
- 総務費…市役所の管理運営、課税徴収、住民窓口、選挙、統計などの事務に使ったお金
- 土木費…道路、公園、市営住宅などの整備や事務に使ったお金
- 教育費…小・中学校、幼稚園、社会教育、文化施設などに使ったお金
- 消防費…消防・災害対策などに使ったお金

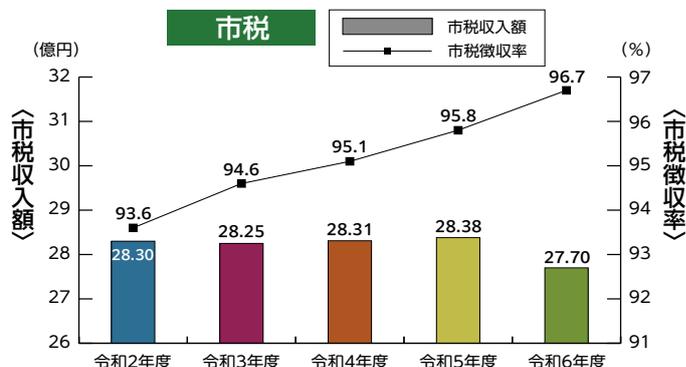
《一般会計》

市税・市債残高・基金残高から見る

財政状況

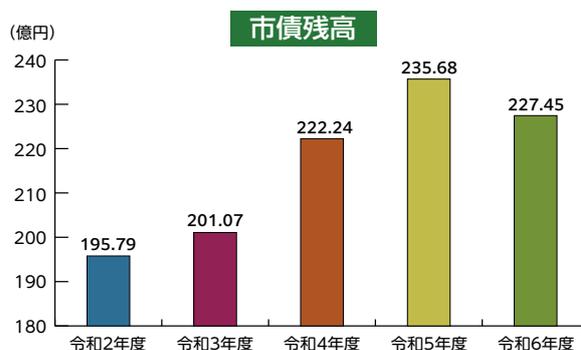
市税の状況

御所市の税には、市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税・都市計画税があります。令和6年度の収入額は、軽自動車税は増加しましたが、固定資産税や市たばこ税が減少。また、定額減税の影響により市民税が減少しました。その結果、市税全体では、前年度と比較して6,718万円の減少となりました。



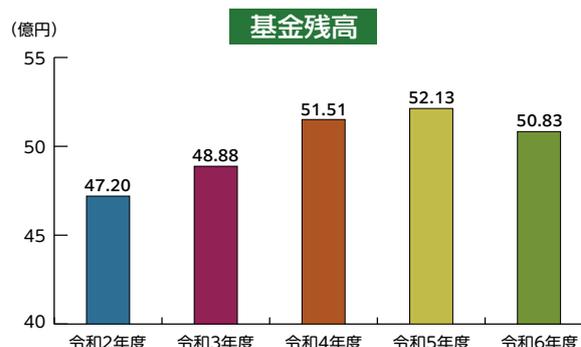
市債残高の状況

市債残高は、過疎対策事業債等の有利な地方債を発行しているものの、令和4年度から継続的に繰上償還を実施してきたことにより減少しました。令和6年度は、繰上償還6億8,854万円を含め23億9,341万円を償還し、前年度と比較して8億2,291万円の減少となりました。



基金残高の状況

市の貯金である基金は、令和6年度末残高が50億8,260万円となりました。



各種指標から見る 財政の健全度

※「早期健全化基準」とは、いわゆるイエローカードのことで、この基準を超えると「財政健全化計画」を策定し、財政の健全化に取り組まなければなりません。

令和6年度の一般会計の実質収支は黒字となりましたが、果たして健全な財政運営ができているのでしょうか？いろいろな指標を使って見てみましょう。

健全化判断比率	項目	内容	令和6年度 (御所市)	早期健全化基準(※)
	実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	—	13.72%
	連結実質赤字比率	全ての会計の赤字の割合	—	18.72%
	実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	11.4%	25.0%
	将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債の割合	61.1%	350.0%

御所市の「健全化判断比率」は**早期健全化基準以下**となっています。

◎ 経常収支比率 99.6% ◎

経常収支比率とは、経常的な収入で経常的な支出をまかなえているかを判断するための指標です。この比率が100%を超えると臨時的収入(特別交付税等)を経常的な支出に充てたり、基金(貯金)の取り崩しが必要な状況となります。令和6年度決算の経常収支比率は99.6%で、前年度の98.8%から0.8ポイント悪化し、地方交付税などの依存財源が歳入全体に占める割合は依然として高い状況です。

令和6年度に実施した主な事業（一般会計）

◇旧火葬場解体・合葬墓等新築工事 2億31万円

旧火葬場の解体および合葬墓等の新築工事を行いました。



◇災害通信対策事業 2億6,275万円

災害時の伝達手段の冗長化、多重化および災害情報の収集を目的として令和6年度から令和7年度にかけて、屋外スピーカーの設置や防災アプリの導入等を行っています。また、J-ALERT受信機能強化のため、専用CSアンテナを設置しました。

◇総合治水対策事業 1,039万円

古瀬地区において頻繁に内水被害が発生していることから、浸水被害を防止するための候補地の選定および調査概略設計を行いました。また、治水対策事業として整備工事を実施した今住調整池の維持工事を行いました。

◇街なみ環境整備事業 5,950万円

「御所中心市街地地区街なみ環境整備事業計画」に基づく「御所まち」の街なみ環境整備事業においてポケットパークを整備するにあたり、用地の購入と設計を行いました。また、旧和光ビル除却工事を開始しました。

◇学校施設環境改善予防改修工事 9,558万円

葛城小学校体育館予防改修工事を行いました。

◇物価高騰対策事業（新たな低所得者支援分・低所得世帯支援分） 2億552万円

物価高騰対策として、令和6年度に新たに住民税非課税世帯および住民税均等割のみ課税世帯となった人に対し、非課税化・均等割のみ課税化給付金、子育て応援給付金を支給したほか、住民税非課税世帯支援給付金・住民税非課税世帯支援給付金（こども加算）を支給しました。

◇定額減税補足給付金交付事業 1億7,871万円

物価高騰への支援の一環として、令和6年度に実施された定額減税において、減税しきれないと見込まれる人に対し、定額減税補足給付金を支給しました。



◇学校規模適正化推進事業 988万円

新しい学校の整備候補地、学校運営形態、開校時期を中心に取りまとめた「御所市立小・中学校に係る新しい学校づくり基本方針」を策定しました。

◇子育て交流広場運営事業 555万円

未就園の乳幼児と保護者が一緒に楽しめる子育て支援室「にじいろ広場」を防災交流館内に開設しました。保護者の子育て相談にも対応し、また、毎月ふれあいイベントを開催しています。

◇奈良県大阪・関西万博実行委員会事業 294万円

奈良県大阪・関西万博実行委員会に加盟し、展示物として葛城山ジオラマを制作しました。



◎ほかにも、さまざまな事業を実施しました。詳しくは市ホームページに掲載の「令和6年度決算 主要施策の成果報告書」をご覧ください。

令和6年度 一般会計決算額を 市民1人あたりで 見てみると…

令和6年度一般会計決算額を、住民基本台帳人口2万3,000人（令和7年3月31日現在）で割り、市民1人あたりの収入やかかった経費（支出）を算出しました。

収入	72万8,224円	(内、市税収入額12万 451円)
支出【経費】	71万1,561円	(内訳)
		民生費 24万2,724円
		公債費 10万9,922円
		衛生費 8万9,894円
		総務費 8万3,274円
		土木費 6万1,516円
		教育費 5万3,646円
		消防費 3万4,446円
		その他 3万6,139円

